

令和7年度 企画提案型協働事業
関連課チェックシート（アイデア審査用）

提 案 者 名：産前産後ケアINZAI

提 案 事 業 名：児童館での親子で楽しみながら出来る体力気力回復のための産後ケアバランスボール教室

関 連 課 等 名：子育て支援課

係 等 名：支援係

担 当 者 名：峰村

内 線 等：726

提案書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- 1 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

産後の身体回復、子連れで参加できる教室、育児ストレスや産後うつ予防、安全で取り組みやすい運動等の理由から、一定の市民ニーズはあると考えられる。

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

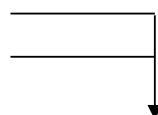
- 1 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

(具体的理由)

「いんざいこどもプラン」で掲げる『成長に応じて切れ目なく支援する』の方針と合致している内容。市の中長期的な施策の方向性に沿った取り組みとして、一定の効果は期待される。

(3)法令上の問題について

- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- 3 特に問題なし



(1または2の場合の具体的理由)

(4) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

(指定テーマの場合には、事業継続の可能性について記載のこと)

①安全管理上の課題

バランスボールを使用するため、転倒や衝突等の事故が起こる可能性がある。事前の安全対策(保険加入、救急対応体制など)が必要。

②施設利用の調整

児童館事業や自由来館とのバッティングの可能性もあり、調整が必要。また、バランスボールを使用できる空間条件(床材の滑りやすさ、天井の高さ、備品の安全性)についての確認が必要。

③職員の役割の明確化と業務量の増加

どこまで運営に関与すべきかが明確でないと、職員間でも認識がずれる可能性がある。また、本来業務との兼ね合いについても確認が必要。

④中立性、公平性の担保

現在も児童館・子育て支援センターではバランスボールを使用した親子事業を実施している。市民団体との協働により公平性や中立性が問われる可能性がある。

⑤児童館・子育て支援センターの運営方針との整合性

児童館の運営方針において提案事業がどの程度想定されているか。産後ママが主軸となる事業のため、子育て支援としての事業運営についての確認が必要。

令和7年度 企画提案型協働事業
関連課チェックシート（アイデア審査用）

提 案 者 名：印西介護リアン

提 案 事 業 名：カフェ型拠点を活用した包括的介護者支援事業

関 連 課 等 名：高齢者福祉課

係 等 名：包括支援係

担 当 者 名：赤間友佳子

内 線 等：274

提案書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- 1 市民ニーズはある
- ☒ 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

（具体的理由）

介護者の負担軽減や情報共有など、介護者同士の交流の場は、市としても必要性があることは認識しており、既に家族介護者教室や、認知症カフェなど、市及び地域包括支援センターの事業として実施している。より多くの介護者の方に参加していただけるよう、場所や日時など工夫を凝らしつつ主催している状況だが、提案のカフェ型拠点を活用した包括的介護者支援事業についてもある程度の市民ニーズはあると考える。

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

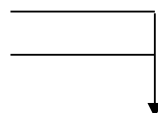
- 1 整合性がある
- 2 整合性がない
- ☒ 3 どちらともいえない

（具体的理由）

基本計画の高齢者福祉施策として実施計画事業に「地域包括ケアシステムの推進」を位置付けており、高齢者福祉計画において「地域包括ケアシステムの深化・推進」を基本目標の一つとして掲げている。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし、尊厳のある生活を継続することができるよう、既にさまざまな事業を市及び地域包括支援センターで実施している。提案のカフェ型拠点を活用した包括的介護者支援事業については、事業の目的や本質が不明瞭な点が多く、現段階ではどちらともいえない。

(3)法令上の問題について

- ☒ 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- 3 特に問題なし



（1または2の場合の具体的理由）

・カフェ型拠点ということで、有償で食事等を提供する場合は、食品衛生法等に関する届け出が必要と思われる。
また、食品衛生責任者の設置も必要と思われる。
・要介護3までの高齢者の一時預かりを行うとのことだが、介護保険事業者としての指定を受けずに事業を実施することが可能かどうか。個人情報の取り扱い、施設環境、感染症対策、必要な専門職の配置、費用、事故等が起きた場合の責任の所在などが不明瞭である。

(4) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

(指定テーマの場合には、事業継続の可能性について記載のこと)

提案のカフェ型拠点を活用した包括的介護者支援事業については、提案内容において、いつ、どこで、誰を対象に、どのような事業を、どの程度の頻度で実施するのかという、事業の具体的な内容がほとんどが見えてこない。別紙の「印西市介護モデル提案」を参照すると、さらに、当該団体が本事業で何をしたいと考えられているのかが疑問である。

概算予算書では、提案者側が負担する額や、無償労働力・機材等の記載がないが、すべて市の負担で実施したいということなのか、予算面においても、団体として何をしようと考えており、市には何に対して負担を求めているのかが不明である。カフェということで食糧品費の歳出項目があるが、利用者からの実費負担は徴収しないということによいのか。人件費では、講座準備として12回の3人分が計上されているが、専門家による介護の困りごとへの個別相談の実施は、市の職員での対応を求めているのであろうか。市では、地域包括支援センターに必要な専門職を配置し、市内5カ所で相談業務を行っており、本事業において課内の職員による対応は困難であり、行政には相談しにくい方のためであれば、なおさら行政の職員以外の者がよいのではないかと思われるが、人材は確保できるのか。

また、提案内容には、相談機能、ハブ機能、夜間の開所、人材育成など様々なことが描かれおり、他機関連携のハブ機能・介護者の健康維持・介護離職・8050・ダブルケア等にも効果が得られるとのことだが、対象や事業内容が不明瞭なため、効果の判断が難しい。

以上のように、提案内容と概算予算書、別紙資料の整合性が読み取れない。

企画の理由として「介護者の孤立」「相談環境の不足」「レスパイトケアを含む適切な支援が喫緊の課題」などが記載されているが、当然、行政が実施できる事業にも限界があり、だからこそ行政サービスでは届きにくいきめ細かな支援であったり、市民団体ならではの事業は貴重な社会資源となる。今一度、市の事業や介護保険制度として介護者支援も含めすでに機能しているサービスに等についても整理、ご理解いただき、当該団体として目指すカフェ型拠点を活用した包括的介護者支援事業のあり方についても、ご検討いただけるとありがたい。

令和7年度 企画提案型協働事業
関連課チェックシート（アイデア審査用）

提 案 者 名： 一般社団法人SODO

提 案 事 業 名： 里山の水循環と生物多様性の保全及び地域活性化のための官民連携事業

関 連 課 等 名： 環境保全課

係 等 名： 保全係

担 当 者 名： 増田、浅井、及川

内 線 等： 365,366

提案書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- ① 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

官民連携事業により印西市の里山環境を良好に保つことで、グリーンインフラとしての持続的に活用する仕組みを構築できれば、地域住民や企業が豊かな自然環境の恵みを楽しみ続けることに大きく寄与することが期待できます。また、里山の保全・活用に係る市内で活動する複数の市民活動団体間の連携の促進を図ることができ、これまでは各地域ごとに活動していた団体の市内全域における一体的な保全活動への取り組みが可能となるなど、市民活動団体(市民)のニーズはあると考えられる。

(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

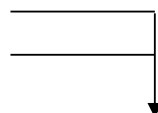
- ① 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

(具体的理由)

- ・印西市総合計画(政策4:自然と都市が調和する快適で人にやさしいまちをつくれます)
- ・印西市総合計画(施策:自然との共生の実現)
- ・第3次印西市環境基本計画(将来環境像:みんなでつくる自然と暮らしが調和した快適でやさしいまちいんざい)
- ・第3次印西市環境基本計画(基本目標:豊かな自然の恵みを受け潤いと安らぎを感じられるまちづくり)
- ・第3次印西市環境基本計画(重点的な取組:自然の力を活かそう!グリーンインフラ大作戦!)

(3)法令上の問題について

- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- ③ 特に問題なし



(1または2の場合の具体的理由)

(4) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

(指定テーマの場合には、事業継続の可能性について記載のこと)

・これまでの市の所有地における里山での保全活動から、今後は、民有地も含めた印西市全域における取組みを実施していく場合には土地の所有者や市民活動団体との調整や連携を図るための合意形成が必要となる。
加えて、環境保全課のみでなく全庁的に取り組まなければならないため、庁内の関係課との連携も必要となる。
本事業は、短期間で実施できるものではないため、継続的に取り組んでいくことが望ましいと考えられます。

令和7年度 企画提案型協働事業
関連課チェックシート（アイデア審査用）

提案者名：印西市市民公益活動団体ShakeHands

提案事業名：＃私たちの保健室～みんなで繋がり合える印西市を目指して～

関連課等名：市民活動推進課

係等名：男女共同参画係

担当者名：千葉井

内線等：36-4174

提案書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1)市民ニーズについて

- 1 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

性や妊娠に関する知識や情報の不足により、望まない妊娠や性感染症などが問題視されていることから、性に関する正しい情報を提供、発信していく必要がある。また、性に関する疑問や悩みは家族や友達など身近な人ほど相談しにくいという傾向がある。性に関する誤った情報が氾濫している現代において、正しい情報を得る機会や相談できる場所があるというのはニーズがあると考えられる。

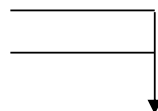
(2)市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

- ① 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

第4次印西市男女共同参画プランの重点目標Ⅲ「誰もが安心・安全に暮らせるまちづくり」の具体的な施策として掲げている「いのちと性に関する教育の充実」に該当する事業であることから市の施策との整合性があると認められる。

(3)法令上の問題について

- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- ③ 特に問題なし



(1または2の場合の具体的理由)

(4) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

性に関する情報は、ときにタブー視されることもあり妊娠や避妊、性感染症などに関する正しい知識を得る機会が少ないのが現状。正しい知識を身に付けることは自分の体を守り、相手のことも守ることに繋がるという意識が浸透し、社会全体への広がりをもってジェンダー平等の実現につながっていくには、現代社会の受け入れの観点から見ても息の長い活動が必要と考える。